にのへ
市議会だより

色とりどりのお餅の花や飾りに、願いを込めて
（メルヘンハウス大清水のみなさん・小正月行事）

46号
平成３０年
2月１５日

12月定例会

— CONTENTS —

定例会の概要・・・・・・・・・2
主な質疑応答・・・・・・・・・4
討論・・・・・・・・・・・・・5
審議結果、賛否の公表・・・・6
一般質問・・・・・・・・・・7
視察レポート・・・・・・・・12

12月
定例会

二戸市空き家条例を可決

―一般会計予算は1億6808万円を追加―

12月定例会は、12月5日から12月15日までの11日間開催され、本会議や常任委員会で活発な議論が交わされました。

今回は、市長より提出された条例案や補正予算案等の議案19件を審議し、全て原案のとおり承認、可決、同意とされました。

また、議員からは意見書案3件が提出され、うち1件が可決されました。

一般質問では7人の議員が登壇し、市政や教育行政全般について市の考えを質(ただ)しました。

・・・主な議案の内容・・・

専決処分

専決処分の承認を求めることについて
二戸市一般会計補正予算（第4号）

承認

平成29年10月22日投開票の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査にかかる経費について、緊急を要するため専決処分により補正するものです。

◆補正額　2427万円

条例

二戸市空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例

可決

年々増加傾向にある空き家等の適正管理を進めることで、市民の生命・財産等の保護や生活環境の保全を図り、併せて空き家等を活用したまちづくり活動の活性化を促進するため制定するものです。

二戸市税条例の一部を改正する条例

可決

地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部改正に伴い、所要の改正をするものです。

二戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

可決

岩手県人事委員会の勧告に鑑み、一般職職員の給料月額や手当の支給割合の改定など、所要の整備をするものです。

補正予算

二戸市一般会計補正予算（第5号）

可決

災害復旧事業費等に伴う増額などの補正です。

◆補正額　1億5496万円

【主な内容（歳出）】
- 障害児施設給付費　1691万円
  放課後等デイサービス事業増に伴う扶助費の増
- 分収林分収交付金　991万円
  分収林の売り払い額の確定によるもの
- 浄法寺漆産業振興基金積立金　267万円
  ふるさと納税による寄付金の積み立て
- 小中学校文化・体育大会出場費補助金　247万円
  補助対象の増によるもの
- 農業施設災害復旧事業費　450万円
  台風災害にかかる農業施設の災害復旧費
- 公共土木施設災害復旧事業費　1億3244万円
  道路や河川の災害復旧費

二戸市一般会計補正予算（第6号）

可決

一般職職員の給与改定に伴う人件費の調整による補正です。

◆補正額　1312万円

人事案件

教育委員会の委員の任命について

同意

次のとおり同意されました。

二戸市浄法寺町　佐々木　千　穂　氏

固定資産評価審査委員会の委員の選任について

同意

次のとおり同意されました。

二戸市石切所　笠　寺　豊　氏
九戸郡九戸村　下斗米　光　昭　氏
二戸市浄法寺町　田　中　隆　男　氏

議員発議

可決された意見書1件は、地方自治法第99条の規定により関係行政機関へ提出しました。

ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める意見書

可決

政府に対して、ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策の推進を強く求めるものです。

相次ぐ墜落事故を起こしているオスプレイの日本全土での飛行訓練中止と撤去を求める意見書

否決

相次ぐ墜落事故を起こしているオスプレイの日本全土での飛行訓練を中止し、撤去することを米国に強く求めるものです。

「森友学園」問題・疑惑の徹底解明を求める意見書

否決

国に対して、名誉校長であった安倍昭恵氏を含む関係者の国会での証人喚問により、森友学園問題・疑惑を徹底解明し、国民に説明することを強く要望するものです。

本会議での質疑

空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例

問 市内の空き家等の現状と空き家率は。

答 市内の住宅総数1万2130戸のうち空き家の数は2080戸で、空き家率は17・1％である。この数字は、5年に1回実施される住宅土地統計調査の平成25年のもので、直近の数字となる。

生活環境に深刻な影響を及ぼしかねない空き家

税条例の一部を改正する条例

問 今回の改正では小規模保育所における固定資産税の軽減などがあるが、どのように市民に周知する予定か。

答 事業を始めたいという申し出があった場合に、福祉担当課と話を進めていく中で十分周知できるものと考える。福祉担当課と税務課が連携して対応する。

補正予算（第5号）

コミュニティバス運行事業

問 コミュニティバス運行委託料の詳細は。

答 委託料246万2千円は、車両整備費の増187万2千円と、運賃収入の減59万円を想定したもの。エアコンなどの高額な修繕の発生に伴い、車両整備費が当初の見込みを上回ることや、委託料から差し引く運賃収入が当初の見込みを下回ることなどによる。

新規就農者育成対策事業

問 事業の申請件数と採択とならなかった理由は。

答 今年度の申請件数は1件で、申請があったものはすべて採択となっている。

都市計画街路整備事業

問 土地購入の内容は。

答 都市計画道路荒瀬上田面線岩谷橋地区、いわゆる岩谷橋の架け替え工事で、工事施工に伴う市道落久保中村線道路拡幅用地として購入するもの。購入予定面積は32・76平方メートル、購入予定額は50万5千円。位置は福岡字川又地内。

小中学校文化・体育大会出場費補助金

問 児童生徒の家庭の経済状況に考慮した支援について、検討は。

答 当市ではスポーツ少年団等の大会も補助対象としたり、参加料や器具運搬費を経費の対象にするなど、幅広く補助を行っている。就学援助世帯についても、クラブ活動費としてクラブ活動にかかる遠征費や用具代を支給し支援している。県内の状況も注視していく。

異文化交流推進事業

問 事業の詳細は。

答 補助対象は、二戸市中高生海外派遣研修事業。平成29年度は高校生4人を加えて初めての研修となるため、引率者を1人加えその経費を増額するもの。

◎総務常任委員会

補正予算（第4号）

投票率向上について

問 年代別投票率の20代から30代までが低い傾向に対する対策は。

答 県内、全国的な傾向である。年を重ね、生活上の中心的役割を担う世代になるに従い選挙や政治に関心が深まっている状況がある。今回は市内全部の幼稚園や保育所の子どもたちに、安全安心グッズと同時に啓発用のチラシを配付した。今後はこのように集中して啓発を行うことも必要と考えている。

補正予算（第5号）

ふるさと納税

問 返礼品見直し後の状況は。

答 高額のものは10万円以内とし、寄付額の3割以内に収めるといった見直しを7月に行った。納税額も伸びているが、件数の伸びのほうが大きい。季節の旬な果物などを工夫して提供しており、件数は伸びている。

ブランド果物の定期便など、多様さを増す返礼品

コミュニティバス運行委託料

問 運賃収入が見込みを下回った要因は。

答 循環バス利用者は増えているが二戸地区・浄法寺地区の患者バス・代替バスは利用者が減少してきている。循環バスは百円なので、その差額分で収入が減少している。

◎文教福祉常任委員会

補正予算（第5号）

障害者総合支援給付事業費

問 **増額の内容は。**

答 生活介護部分が700万円、就労継続支援B型部分が1100万円ほどで、生活介護が3％程度、就労継続支援B型が5％程度の増を見込んでいる。

障害児施設給付費

問 **増額の内容は。**

答 サービスを提供する施設が増えたことによる利用者の増を見込んだもの。平成29年3月から「スマイルひまわり」が、同年6月から「はあとすぽっと」がサービスを提供している。

二戸市障害者福祉センター内にある「はあとすぽっと」

小中学校文化・体育大会出場費補助金

問 **例年の実績から推計したことによる増額か。**

答 例年の実績から試算したものにプラスして、福岡中学校が剣道の新人戦で優勝したことから、全国大会が1回程度多くなる見込みを立てたもの。

文化会館管理費

問 **修繕料について、消防点検での指摘事項は今回の件だけだったのか。**

答 今回の消防設備点検での指摘事項は、大ホールの排煙口のみであった。

◎産業建設常任委員会

空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例

問 **空き家と特定空き家の定義は。**

答 空き家とは1年以上使用されていない建物のことをいう。特定空き家とは、放置されることによって倒壊、保安上危険な状態、衛生上有害となる恐れがあるものをいう。特定空き家に認定され市の助言や指導に従わず改善勧告が出された場合、固定資産税の6分の1の軽減が適用されなくなる。

問 **空き家等対策協議会の構成は。**

答 不動産関連の宅建業者、建築士、土地家屋調査士、福祉関係など8人ほどで構成したいと考えている。

補正予算（第5号）

漆振興基金積立金

問 **基金積立金の流れとふるさと納税の寄付金繰り入れ額は。**

答 基金は平成28年10月に設置され、過疎ソフト事業の起債借用とふるさと納税の寄付金を積み立て、漆産業の振興に活用しており、28年度末の残高は3798万5千円。29年度は積立金3552万4千円で、事業に活用する取り崩しは2971万9千円、年度末の残高を4379万円と見込んでいる。基金の取り崩しについて一番多いのは、漆原木確保対策事業である。

討論

議案第1号　専決処分の承認を求めることについて　二戸市一般会計補正予算（第4号）

賛成

田口　一男 議員

今回の選挙は唐突な国会解散で、これまでに例を見ないほど短期の準備期間となったが、市職員並びに選挙に携わった関係者は通常の予定を変更し、投票の呼びかけなど選挙啓発を行いながら業務を遂行し対応した。このような状況の下での専決処分は妥当なものと考え賛成する。

議案第6号　二戸市一般会計補正予算（第5号）

賛成

畠中　泰子 議員

災害復旧においては、土砂崩落の危険がある市道大萩野線周辺など、引き続きパトロールや対策を求める。異文化交流事業や小中学校文化・体育大会出場費補助については、家庭の経済的事情で参加が制限されることがないよう、支援の見直しを求めて賛成する。

審議結果

議案番号等		議　案　名　等	審議結果
議案	1	専決処分の承認を求めることについて　平成 29 年度二戸市一般会計補正予算（第４号）	承認（全員賛成）
	2	二戸市空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例	可決（全員賛成）
	3	二戸市税条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	4	岩手県市町村総合事務組合における共同処理する事務の変更及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議について	可決（全員賛成）
	5	岩手県市町村総合事務組合の財産処分の協議について	可決（全員賛成）
	6	平成 29 年度二戸市一般会計補正予算（第５号）	可決（全員賛成）
	7	平成 29 年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第２号）	可決（全員賛成）
	8	教育委員会の委員の任命について	同意（全員賛成）
	9	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意（全員賛成）
	10	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意（全員賛成）
	11	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意（全員賛成）
	12	二戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	13	平成 29 年度二戸市一般会計補正予算（第６号）	可決（全員賛成）
	14	平成 29 年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	可決（全員賛成）
	15	平成 29 年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第３号）	可決（全員賛成）
	16	平成 29 年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算（第２号）	可決（全員賛成）
	17	平成 29 年度二戸市簡易水道事業特別会計補正予算（第２号）	可決（全員賛成）
	18	平成 29 年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第２号）	可決（全員賛成）
	19	平成 29 年度二戸市水道事業会計補正予算（第２号）	可決（全員賛成）
報告	1	専決処分の報告について　公用車両の事故に伴う損害賠償	報　　告
発議	1	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める意見書	可決（全員賛成）
	2	相次ぐ墜落事故を起こしているオスプレイの日本全土での飛行訓練中止と撤去を求める意見書	否決（賛成少数）
	3	「森友学園」問題・疑惑の徹底解明を求める意見書	否決（賛成少数）

賛否の公表　採決で賛否が分かれた案件の結果です

議　案　名	1 駒木 昇	2 清水 正敏	3 内沢 真申	4 米田 誠	5 三浦 利章	6 田口 一男	7 菅原 恒雄	8 田村 隆博	9 國分 敏彦	10 小笠原清晃	11 新畑 鉄男	12 畠中 泰子	13 田中 勝二	14 田代 博之	15 岩崎 敬郎	16 田口 一	17 及川 正信	18 鈴木 忠幸
発議第２号　相次ぐ墜落事故を起こしているオスプレイの日本全土での飛行訓練中止と撤去を求める意見書	○	×	×	×	×	○	議	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○
発議第３号　「森友学園」問題・疑惑の徹底解明を求める意見書	○	×	×	×	×	○	議	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○

※議長は採決には加わりません。　※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対

請願・陳情のしかた　～市政に要望がある時は、市議会に請願書や陳情書を提出することができます～

【請願と陳情のちがい】

○請願は、紹介議員の署名または記名･押印が必要です。
○陳情は、紹介議員を必要としません。

【請願・陳情の取扱い】

○請願及び市内の方が提出した陳情は市議会で審査し、採択の場合は関係機関へ送付します。
○市外の方からの陳情は、市議会より議員に配付します。

【記載していただく事項】

①提出年月日
②提出者の住所･氏名（団体の場合は名称、代表者の住所、氏名）・押印
③請願・陳情の要旨、理由
④請願の場合は、紹介議員１人以上の署名または記名・押印

市政を問う！

7人の議員が一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたり事業の執行状況や考え方などを執行機関に質問するものです。

本定例会では７人の議員が、下記の項目について質問に立ちました。

田村　隆博 議員 …… Ｐ７
1．鳥獣の目撃情報及び被害対策について
2．農産物の収穫状況について
3．岩谷橋架け替え工事による交通渋滞について

三浦　利章 議員 …… Ｐ８
1．市長は市民の負託にどう応えていくのか
2．県道二戸五日市線の改修工事計画について

岩崎　敬郎 議員 …… Ｐ８
1．藤原市長二期目の選挙公約について

田口　一男 議員 …… Ｐ９
1．選挙の投票率向上について
2．公務員の定年延長について

及川　正信 議員 …… Ｐ10
1．漆産業の更なる推進について
2．現在連携している自治体との在り方について
3．二戸市カーリング施設の整備について

駒木　　昇 議員 …… Ｐ10
1．結婚支援について
2．運転免許自主返納について

畠中　泰子 議員 …… Ｐ11
1．過酷な負担の本市の国保税と国保の広域化について
2．介護保険と高齢者福祉
3．保育現場での日の丸・君が代

田村 隆博 議員

鳥獣からの被害防止対策は
農産物鳥獣被害対策補助金等で被害防止へ

問 鳥獣から農畜産物を守るための被害防止対策を伺いたい。

答 **市長**　鳥獣被害の深刻化や広域化を踏まえ、国では「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」を平成20年に策定した。この法律を受け県では、鳥獣保護管理事業計画を作り、被害防止活動や有害鳥獣捕獲等の事業を展開してきた。市では、県の計画に基づき「二戸市鳥獣被害防止計画」を策定し、市内の鳥獣被害防止に努めてきた。28年度には「二戸市農産物鳥獣被害対策補助金」を創設し、爆音器、防護柵、捕獲器の設置費の助成を行っている。これまで防護柵が延べ1300㍍、爆音器が8台導入されている。上限は10万円で、事業対象経費の2分の1を補助するものとなっている。

28年度の捕獲実績は、ニホンジカ8頭、ノウサギ54羽、カラス64羽、クマ5頭。市内の鳥獣による農作物の被害面積は248㌃、被害額は548万8千円であった。

鳥獣被害は農業者の営農意欲低下の要因にも

問 農作物の収穫状況は

8月の低温や日照不足による米や葉タバコ・野菜・果樹等の収穫状況を伺いたい。

答 **市長**　本市を含む県北部は、29年産の米の作況指数が「94」で不良となった。例年と比較すると、10㌃当たりおよそ13㌔の減収が見込まれている。玄米60㌔の農協取引価格は、昨年より単価で1200円高い1万2200円となり、米の総販売額は昨年産に比べおよそ70万円減の4255万3千円と見込む。

葉タバコでは、7月下旬の降雨と高温により立ち枯れ病が昨年より多く発生したほか、8月の低温により収穫葉数が少ないことから、収量減が予想されている。

野菜の全体出荷量は昨年比86・8％となったが、平均単価は111・6％と高く推移したことから、販売額は6億8182万円、昨年比96・2％となった。

サクランボは概ね天候に恵まれたことから、出荷量は昨年比101・6％、販売額は2517万円で103・3％となった。

リンゴは、開花時の強い風等で適正受粉が妨げられ、着果・結実に影響がある地域もあったが、早生・中生種は昨年並みの出荷量となっている。

三浦 利章 議員

市民の負託にどう応えていくのか
元気で安心して暮らせるまちづくりを目指す

問 市民の負託にどう応えていくのか。

答 **市長** 現在の二戸市の課題、取り組みが必要な課題として人口減少が挙げられる。産業面では人材の確保が難しくなっており、農業や事業者では高齢化や後継者不足により事業の継続が大変困難になってきているところも出てきている。また、出生数の減少傾向が続いており、進学や就職による若い世代の転出超過など、人口減少につながる構造的な課題を解決していく必要がある。

さらに、地域においては高齢化の進行や担い手不足によりさまざまな活動が難しくなっている現状も見られるため、これから安心して安全に暮らせる地域をどのように維持していくのかを考えていくことが重要であると感じている。

人口減少が進む中で、地域を支え、牽引していくような人材が育つことで、さまざまな挑戦が生まれ地域の活力につながり、魅力あるまちづくりの可能性が高いと考えている。また、活気ある力強いまちを実現するためには産業基盤の充実が欠かせないため、基幹産業である農林業や地域に根差した地場企業が、新しいことに挑戦しやすい環境をつくりながら、産業の成長を支援していくことが大切であると認識している。この人づくりと産業振興を基本にしながら、元気で安心して暮らせるまちづくりを目指していきたい。

２期目を迎え、職員を前に決意を述べる藤原市長

県道二戸五日市線の改修工事計画

問 県の事業計画等、把握している部分があるか。

答 **市長** 県と市では平成29年10月25日に、対象地区の柿ノ木平、大清水、門崎、下藤地区の代表者と県道二戸五日市線柿ノ木平地区道路計画懇談会を開催して、概略設計について地元住民との意見交換を実施した。現在、懇談会で出された意見等も踏まえながら、土地利用、施工性、維持管理、経済性などを総合的に検討している。ルート案についても地元要望を含め精査した上で、同地区への全体説明会を平成30年度に開催することを目指し、取り組んでいる。

岩崎 敬郎 議員

市長選挙の公約はどのようなものか
総合計画の着実な推進を基本とする

問 市長選挙について、市民、有権者の皆さんに約束する公約はどのようなものか。

答 **市長** 市民の皆さまの信頼と期待に応えるべく無我夢中で走り続け、あっという間であったというのが正直な感想である。浄法寺漆や九戸城跡を初め、子供たちの活躍、事業者の挑戦など、市全体としての追い風が吹いているという感触を持っている。

策定したものである。今回の選挙に当たり、この総合計画の着実な推進、そしてその中に掲げたみんなの夢の実現こそが市民の皆さんの選挙に当たり、この総合計画の着実な推進、そしてその中に掲げたみんなの夢の実現こそが市民の皆さんに表明したい。

問 事業計画の優先順位や予算配分をどのように考えているのか。

答 **市長** 市民の皆さまの信頼と期待に応えるべく無我夢中で走り続け、あっという間であったというのが正直な感想である。浄法寺漆や九戸城跡を初め、子供たちの活躍、事業者の挑戦など、市全体としての追い風が吹いているという感触を持っている。

答 **市長**　第2次総合計画は、30年後の将来を見据えながら、これから10年間でどのようなまちづくりが必要かという視点で計画づくりを進め、ワークショップの開催や各種団体との意見交換など、新しい形で市民の皆さんのたくさんの思いをお聞きしながらと約束する項目の基本になると思っている。重点項目としては、二戸の伝統と特色を生かした産業振興、子育て支援・健康福祉の充実と芸術文化・スポーツの振興、安全で快適なまちづくり、分野を超えた人づくりの4つを柱に全力を尽くしていきたいと現在は考えて

答 **市長**　現在進めている施策や予算については、第2次総合計画前期基本計画の中で具体的な進め方を示すアクションプラン、計画期間の事業費を明らかにする実施計画に基づいて編成する形で進めている。毎年見直しを行うことで、時代の変化や市民のニ方向性と一致する施策については、有利な補助制度を活用し、財源にも配慮しながら、場合によっては補正予算による編成も行いながら進めてきたところである。

問 **1期目の4年間を振り返り、どのような所感を持っているか。**

木地師研修生辞令交付式での藤原市長（左）

田口 一男 議員

投票率を引き上げる具体策は
投票率のホームページ上での公表を検討したい

問 **県内で最下位の投票率の脱出はできたが依然として下位である。18歳からの参政権を機に市民の政治意識の高揚を図る具体的な施策を伺う。**

答 **市長**　選挙権年齢の引き下げに対応する部分では、18歳から20歳までの有権者と家族宛てに投票の呼びかけ文書等を郵送した。また、市内の高校への直接訪問や選挙啓発授業の実施のほか、二戸市独自のポスターの掲示、検診や予防接種会場等での啓発、市内園児の保護者への選挙公報チラシの配布、誘致企業等の従業員への投票の呼びかけ依頼なども行い、投票率アップに努めた。

前回と比較した投票率の伸び率が県内で上から2番目ということから、啓発活動に一定の効果があった。全投票所で随時投票率を公表することは難しいが、推計値として市の投票率を定時にホームページ上で公表することは検討する。18歳前の世代に対する啓発活動も重要であり、取り組みについて考えたい。

これまで青年議会などは行っていないが、市内小学生の市役所見学で議会の雰囲気を感じてもらえるような見学の案内をしている。

今後は具体的な数字等を示し、二戸市の選挙の現状を理解してもらいながら、意識の高揚を図り活動を広げていく。選挙啓発の活動が市民の身近なものであると感じ投票行動につながるように取り組んでいく。

福岡高校で行われた選挙啓発授業

公務員の定年延長の考えは

問 **長寿社会とともに年金支給開始の延長が行われてきた。地方公務員も国の制度を基準に60歳定年制が条例で定められているが、地方自治体の裁量に任されている。公務員の定年延長の考えは。**

答 **市長**　雇用と年金の接続の観点から、定年退職する職員が公的年金の報酬比例部分の支給開始年齢に達するまでの間、定年後の再任用希望者には再任用制度を実施し、希望者の全てを任用している。今年度は16人が再任用職員として公務に従事している。

国では定年延長に伴う中高年層の給与の減額、退職定年制などを検討すると報道されているが、それ以上は把握していない。今後国の動向等を注視していきたい。

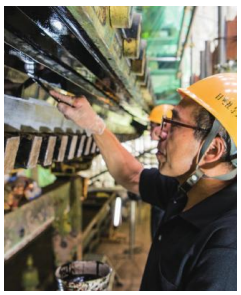
及川 正信 議員

漆生産の増加に向け、更なる漆産業振興策を

年2トンの生産は平成34年の実現を目指す

問 原木の確保、漆掻き職人の体制など再確認したい。問題は需要に対する供給だが、現在半分にも満たない状況にどのように対応し、目標到達年次は何年後を目指しているのか。

答 **市長** 当面の生産目標は年2トンで、漆掻き職人体制は40人、漆原木の必要量は18万本と見込んでいる。ただし今後国宝や重要文化財以外での需要が増加すれば十分といえない。年次目標については、人材育成が順調に推移した場合5年程度かかるとみて、平成30年度1・2トン、32年度1・7トンと計画し34年度には到達したいと考えている。



日光東照宮での修復作業

問 漆掻き職人の冬期間収入問題をどう考えるか。また、原木確保にあたっては広域的取り組みが目標年次を早める鍵の一つになると思うが、考えを伺う。

答 **市長** 冬期収入の対応としては、受け皿としての会社の設立により、通年就業ができる環境整備の検討が必要と思っている。広域的取り組みとして、県においては漆振興実務者連携会議を設置した。また、八戸市、久慈市、二戸市、岩手県、青森県の構成メンバーで4月には漆産業振興専門部会が設置され、漆資源創生に向けた取り組みがスタートする予定である。

連携自治体との在り方

問 二戸市が連携し交流関係にある自治体との在り方を市民レベルまで広げるべきと思うが。

答 **市長** 現在二戸市が交流している自治体数は37市町村。二戸・久慈・八戸圏域では、防災、産業、広域観光、スポーツ、文化交流などで連携している。今後とも連携の推進により、市町村及び住民の幅広い交流を深めるよう進めたい。

カーリング施設の整備

問 カーリング施設は体育の観点からだけでなくまちづくりの一環として位置づけ、交流人口増に繋げるなら二戸市にとって大きなプラスになると思う。市長は方向性を示すべきでは。

答 **市長** 基礎調査の報告書等の成果品が3月に提出されることになっている。この調査はまちづくりの観点や生涯スポーツの観点からも行っている。最終的な判断時期は、報告書提出が選挙後でもあり現時点での発言は控えたい。

駒木　昇 議員

運転免許証　自主返納の方策は

運転免許自主返納制度周知を進める

問 制度の内容について周知は。

答 **市長** 加齢に伴う身体機能や判断力の低下により運転に不安を感じ拡大を図っていく。

問 免許返納後の交通手段などは。

答 **市長** 自主返納後においても、元々運転用可能な市コミュニティバスを運行し、交通空白地帯の解消と医療機関への交通手段確保に取り組んできたところであり、今後も必要

結婚支援の取り組みは

問 紹介・後押ししてくれる制度や組織を立ち上げ、現実的な行動に結業体験を通じて交流を深める「KAMA-コン」など、各団体で工夫を凝らし地域の魅力を引き出した婚活イベントが行われ、カップルが成立し結婚に結びついている。婚活にかかわらず若者の皆さんが気軽に集まり楽しむことができるイベントの開催を市で応援するこ

る方などが自主的に運転免許の取り消しを申請でき、また身分証明書として「運転経歴証明書」を申請できる制度である。市では関係団体と連携し、高齢者の事故防止と自主返納制度についての啓発チラシをスーパーなどで配布するなどしている。今後とも一層の周知

自主返納者が取得できる運転経歴証明書

免許証を持っていない方と同様に一定の交通手段が確保され、安心した生活が続けられることが重要であると認識している。このため市では、民間バス路線の廃止や縮小、旧患者輸送バスの代替路線として、高齢者や学生などの移動手段を持たない方が低額な料金で利

な見直しを行い、維持・確保していきたい。

びつける考えは。

答 **市長** イベント支援を行っているが、これまで市内の若者の皆さんが企画した「ガンバンNight」や金田一の湯田地域の方々が中心となって手仕事体験などを取り入れた「温泉コン」、若手農業者で農

とが必要だと感じている。

結婚を支援する制度や組織の立ち上げについては、結婚の仲介はこれまで民間でも取り組んでいる事業であるため、市としては企業間交流やスポーツ交流など、各種イベントを通じて若者が出会い交流する場づくりに努めていきたい。

畠中 泰子 議員

本市の国保税の過酷な負担と差し押さえ強化を改めよ

制度の健全運営のため適正な賦課、資力のある方に差し押さえ処分

問 **本市の国保税は過酷な負担との認識はあるか。広域化しても課税権限は市町村。独自繰り入れで引き下げをすべきでは。**

答 **市長** 国保は加入者の相互扶助的な性格を持っており、制度の健全運営のため適正な賦課と捉える。平成28年度の滞納は654世帯2億209万円、うち156世帯に6262万円の差し押さえ処分を行っている。税負担の公平性から、資力がありながら滞納している方に行った。29年11月に岩手県国民健康保険運営方針が策定され、法定外の一般会計繰入金は段階的に解消又は削減すべき対象とした。納付金等を見極めながら税率を決定したい。

問 **国保は戦前は相互扶助、戦後は社会保障であり認識を改めよ。滞納世帯の差し押さえ割合24%は、全国の中でも差し押さえ率が高い岩手県平均の13・5%の倍の過酷な処分だ。払えない方々の問題解決の対応を。**

答 **市長** きめ細やかな窓口相談を進めていきたい。

第7期介護保険事業

問 **介護保険法等の一部改正が今後順次施行される。影響と対応は。**

答 **市長** 年収が一定額を超える方の利用料3割負担は平成30年8月から37人が適用見込み。介護療養病床廃止に伴う転換先の介護医療院の導入は平成35年度末まで猶予され、現在18人が利用し、すぐに影響はない。要介護度改善の自治体への財政的優遇付与については詳細が示されていない。

保育現場での日の丸・君が代

問 **保育所保育指針や幼稚園教育要領等が改定。国旗・国歌に親しむことが盛り込まれ、来年度から施行されることに疑問や不安の声が出ている。乳幼児期にふさわしい形で支えそのための環境や文化をつくることが必要で、息苦しい保育・教育にしてはならないと考えるが。**

答 **市長** 市では運動会で万国旗を飾る等、日頃の活動や行事で対応したい。民間保育施設は設置者判断による。

答 **教育長** 市内の幼稚園は民間の1施設であるが、設置者の判断によるものと認識している。

新しい指針・要領は平成30年度に施行

視察レポート

２常任委員会で管外行政調査を実施し、先進地の取り組みについて学びました。

文教福祉常任委員会

【視察日】10月18日（水）～20日（金）【視察先】京都府向日（むこう）市、奈良県宇陀（うだ）市
【視察者】三浦利章委員長、鈴木忠幸副委員長、駒木昇委員、清水正敏委員、田口一男委員

向日市役所での説明の様子

【向日市中央公民館】

向日市は、平成27年に第67回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）を受賞した。公民館講座を企画する上で、次代を担う子どもたちへの企画として事業を行っていることが評価されたもので、手作りの体験が中心の事業や京都の伝統文化の体験のほか、「夏休み子ども体験講座」がある。平成19年度から、子どもの理科離れ、学力低下対策の一環として、京都技術士会の協力を得て「ふしぎ発見！理科教室」を実施している。

▼所感　時代にタイムリーな企画や次代を担う子どもたちへの企画については、当市の公民館事業においても今後、参考に検討されてもいいのではと思われる。

【ウェルネスシティ宇陀市】

宇陀市では、平成25年度からの後期基本計画で「健幸都市 ウェルネスシティ宇陀市構想」を策定し、健康寿命の延伸を目標とした。効果を上げるためのツールとして、①ラジオ体操の普及②健康ポイント③毎月のウェルネスイベントを実施。イベントは市全体で取り組んでいる。**▼所感**　現在当市では一部地域に限定したポイント事業に取り組んでいるが、今後は市民に広く「ウェルネスシティ」について知ってもらい、その必要性を理解していただき、市民、市役所全体での取り組み・参加が必要と思われる。

総務常任委員会

【視察日】11月20日（月）～22日（水）【視察先】山形県川西町、長井市、岩手県遠野市
【視察者】内沢真申委員長、米田誠副委員長、菅原恒雄委員、田村隆博委員、新畑鉄男委員

【デマンド型乗合交通】

川西町では、町民バスによる財政負担を軽減すると同時に交通弱者の生活交通を確保するため、デマンド交通型乗合タクシーを導入することとした。利用者の拡大や他市町への広域運行、運転免許証返納者への優遇措置など、今後の検討課題についても整理されている。**▼所感**　当市では、委託する循環バスで交通弱者の利便性向上や通院等の支援をしている状況にあり、当面はこの制度を活用し利用者の期待に応えるのが望ましいと考える。市内の今後のバス利用状況を見守る一方で、いかにして市民の足を確保するのか、次なるサービスの展開として、デマンド型交通導入は一考の価値があると感じた。

【レインボープラン（生ごみ堆肥化）】

長井市でのこの取り組みは、単なるごみ処理事業ではない。農地に堆肥を入れ土壌を再生する必要性や地元の農産物が店頭に出回らないという事情があり、循環型まちづくりという市民参加のソフト事業として取り組まれている。**▼所感**　当市で堆肥化を行うとすれば、製造施設の工事費や管理運営、点在世帯の収集費用、堆肥販売価格、堆肥使用量などの不確定な要素が多いが、今後は可能性について研究を進めていく価値はあると感じた。

コンポストセンターを見学（長井市）

※その他の調査事項…まちづくり支援策（川西町）、遠野みらい創りカレッジ、遠野ローカルベンチャー事業（遠野市）

進めています！議会改革

議会ネット中継の実現に向けて

12月15日、議員全員で構成する議会改革推進協議会を開催し、インターネットを利用した本会議のライブ及び録画の配信を行う方向性を確認しました。

映像は、動画共有サービスを利用して配信する予定としており、今後実現に向けて予算化を目指します。どのような議案をどのように審議し採決を行っているのか、日中はお仕事などで議場での傍聴が難しい方でも、録画ならいつでも好きな時間で見ることが可能となります。

この議会だよりや議会報告会、カシオペアＦＭの議会放送なども含めて、議会の見える化を推し進め、より市民の皆様に開かれた議会活動を目指し活性化を図ってまいります。

議会活動の報告

（11月から1月）

11月2日
総務常任委員会
11月13日
岩手県市議会議員研修会
11月18日
六市議会議員協議会スポーツ交流大会
11月20日～22日
総務常任委員会管外行政調査
11月24日
議会運営委員会
議員全員協議会
11月27日
カシオペア連邦議会議員協議会役員会
11月28日
総務常任委員会
文教福祉常任委員会
産業建設常任委員会
12月1日
議会運営委員会
12月5日～15日
平成29年第4回定例会
12月8日
議会改革検討委員会
12月11日
議会運営委員会
12月15日
議会運営委員会
議会改革推進協議会
広聴広報委員会広報部会
1月5日
議会改革検討委員会
1月10日
議会運営委員会
1月18日～19日
岩手県市議会議長会第2回定期総会
1月24日
広聴広報委員会広報部会
1月25日
文教福祉常任委員会
1月29日
二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会調査研究活動
1月30日～2月1日
産業建設常任委員会管外行政調査

会議録を公開しています

会議録は、定例会・臨時会での本会議のすべての内容を記録・製本して、市役所1階情報公開コーナー、市立図書館および浄法寺カシオペアセンターに備えてあります。

また、平成18年以降に開催した定例会・臨時会の会議録は、市議会ホームページより閲覧・検索することができます。

一般質問をラジオで放送しています

定例会の一般質問は、カシオペアＦＭ（周波数77.9ＭＨｚ）で録音放送をしています。

放送日程は、二戸市議会またはカシオペアＦＭのホームページでご確認いただくかお問い合わせください。

【問い合わせ先】
二戸市議会事務局（TEL：0195-23-3111）
カシオペアＦＭ（TEL：0195-43-3461）

市議会の詳しい情報は、二戸市議会のホームページでご覧いただけます。
市議会のページへは、二戸市ホームページ（http://www.city.ninohe.lg.jp/）
よりアクセスください。

右のＱＲコードからもアクセスできます→

声のひろば
KOE NO HIROBA

子育てママの声に耳を傾けて

澤藤（さわふじ）　有佳（ゆか）　さん
結翔（ゆいと）　くん
咲舞（えま）　ちゃん

二戸市に住んで、子育てママさん達とのつながりやコミュニケーションが取りやすいところが良いと感じます。また、長女が生まれ、子育て支援センターが出来るなど、子育てに対する支援等が良くなってきていると思います。

ただ一方では、まだ隣接する町村の子育て支援（住宅や保育料や医療費）に関してうらやましいと感じることもあります。将来、子供達とどう暮らしていけるか不安に思うこともあります。子育てママさん達の声にも耳を傾けて欲しいです。

このコーナーでは、市民の皆さまのまちづくりに対する思いを紹介します。
掲載を希望する方は、お気軽に二戸市議会事務局へご連絡ください。

議会の出前を始めます　～議員と意見交換しませんか～

二戸市議会では、「議員との意見交換会・議会報告会」を開催していただける市内の団体を募集しています。希望するテーマに応じて議員を派遣します。日頃感じている市政への要望や提案などを、この機会にぜひお聞かせください。

詳しくは、二戸市議会ホームページをご覧いただくか、二戸市議会事務局へお問い合わせください。

議会を傍聴してみませんか

本会議は、当日の受付で傍聴できます。

傍聴を希望する場合は、議会開催日に市役所3階までお越しください。車椅子をご利用の方も傍聴が可能です。介助が必要な場合は、事務局職員へお声がけください。

また、市役所および浄法寺総合支所の1階ホールでは、テレビで議会中継を見ることができます。

※12月定例会の傍聴者は12人（延べ）でした。

3月定例会を開催します

次回の定例会は、2月21日（水）に開会の予定です。

詳しい日程につきましては、二戸市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

戌年を迎え、市民の皆さまには元気でお過ごしのことと思います。

今年初めの議会広報46号の編集となりました。広報部会として改善すべきことはありますが、議会活動が分かりやすく親しまれる紙面づくりに努めてまいります。

今号より「声のひろば」コーナーの掲載を始めました。今後も議会報告にとどまらず、市民の皆さまからの声をお届けしていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

（駒木　昇　記）

広聴広報委員会
委員長　内沢　真申
（広報部会）
部会長　清水　正敏
副部会長　畠中　泰子
委員　駒木　昇
委員　三浦　利章

発行／二戸市議会
編集／広聴広報委員会

〒028-6192　岩手県二戸市福岡字川又47
TEL 0195（23）3111　FAX 0195（23）1633

二戸市議会のホームページ（市ホームページよりアクセス）　http://www.city.ninohe.lg.jp/
二戸市議会のメールアドレス　gikai@city.ninohe.iwate.jp